

PATENT COOPERATION TREATY

From the INTERNATIONAL BUREAU

To:

KAWAMIYA, Osamu Aoyama & Partners IMP Building 3-7, Shiromi 1-chome Chuo-ku, Osaka-shi Osaka 5400001 JAPON

NOTIFICATION CONCERNING TRANSMITTAL OF COPY OF INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (CHAPTER I OF THE PATENT COOPERATION TREATY)

(PCT Rule 44bis.1(c))

Date of mailing (day/month/year) 13 October 2005 (13.10.2005)

Applicant's or agent's file reference

664411

PCT/JP2004/004658

International application No.

International filing date (day/month/year) 31 March 2004 (31.03.2004) Priority date (day/month/year) 31 March 2003 (31.03.2003)

IMPORTANT NOTICE

Applicant

NISSHA PRINTING CO., LTD. et al

The International Bureau transmits herewith a copy of the international preliminary report on patentability (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

> The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

Authorized officer

Masashi Honda

Facsimile No.+41 22 740 14 35

Facsimile No.+41 22 338 70 10

PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference 664411	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below	
International application No. PCT/JP2004/004658	International filing date (day/month/year) 31 March 2004 (31.03.2004)	Priority date (day/month/year) 31 March 2003 (31.03.2003)]	
International Patent Classification (IP ⁷ B29C 33/30, 45/14, 45/26	C) or national classification and IPC		
Applicant NISSHA PRINTING CO., LTD.			

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).		
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.		
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.		
3.	This report contains indications	relating to the following items:	
	Box No. I	Basis of the report	
	Box No. II	Priority	
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability	
	Box No. IV	Lack of unity of invention	
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement	
	Box No. VI	Certain documents cited	
	Box No. VII	Certain defects in the international application	
	Box No. VIII	Certain observations on the international application	
l			
4.	The International Bureau will conot, except where the applicant date (Rule 44bis .2).	ommunicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority	

	Date of issuance of this report 01 October 2005 (01.10.2005)
The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland	Authorized officer Masashi Honda
Facsimile No. +41 22 740 14 35	Telephone No. +41 22 338 70 10

Form PCT/IB/373 (January 2004)

· 発信人 日本国特許庁(国際調査機関)

出願人代理人	
河宮 治 様	REC'D 2 2 JUL 2004
あて名	WIPO PCT
Ŧ 540-0001	国際調査機関の見解告 (法施行規則第40条の2)
大阪府大阪市中央区城見一丁目3番7号 IMPビル - 特山特許事務所	[PCT規則43の2.1]
	^{発送日} (日.月.年) 20. 7. 200 4
出願人又は代理人 の書類記号 664411	今後の手続きについては、下記2を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP2004/004658 国際出願日 (日.月.年) 31.	優先日 03.2004 (日.月.年) 31.03.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl ⁷ B2	9C33/30, 45/14, 45/26
出願人 (氏名又は名称) 日本写真印	刷株式会社
1. この見解整は次の内容を含む。	5新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、
際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この	. 1
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書と ち3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了す な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができ	みなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日かる期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当る。
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照	すること。
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を	参照すること。
見解審を作成した日 06.07	2004
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP)	特許庁審査官(権限のある職員) 岩田 行剛
郵便番号100-8915 東京都千代田区設が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101·内線 3430

第 I 欄 見解の基礎		
1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。		
この見解告は、それは国際調査	語による翻訳文を基礎として作成した。 のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。	
2. この国際出願で開: 以下に基づき見解	示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 暋を作成した。	
a. タイプ	配列表	
	配列表に関連するテーブル	
b. フォーマット	書面	
	コンピュータ読み取り可能な形式	
c . 提出時期	出願時の国際出願に含まれる	
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された	
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された	
た配列が出願	表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が	
あった。		
あった。		

国際調査機関の見解告

第V棡	新規性、	進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、
	それ.をF	低付る 文献及び贈り

1. 見解

新規性 (N)

 請求の範囲
 1-13
 有

 請求の範囲
 無

進歩性(IS)

請求の範囲 <u>1-13</u>有 請求の範囲 無

産業上の利用可能性(IA)

請求の範囲 1-13 請求の範囲 1-13

2. 文献及び説明

【文献】

文献1: JP 2-187245 A (三協エンジニアリング株式会社) 1990.07.23, 請求項1, 図1 (ファミリーなし)

文献2: JP 10-278047 A (株式会社村田製作所) 1998.10.20, 請求項1、図3, 4 (ファミリーなし)

文献3:日本国実用新案登録出願4-36743号(日本国実用新案登録出願公開5-86437号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録したCD-ROM(相生精機株式会社)1993.11.22,【0007】、図1(ファミリーなし)

【説明】

・請求の範囲1-13について

文献1には、型締時に嵌合する外枠3,4に設けられたクランプ7により中子を装着することが記載されている。文献1に記載された発明では、外枠同士が型締時に嵌合しているので、型締め力受け部の役割も担っていると解されるが、キャビティ形成ブロックに相当する中子の位置決め・取り付け方法で本願請求の範囲1に係る発明と相違する。

文献2には、ベースプレートに突設されたストッパにより金型の位置決めがされることが記載されている。

文献3には、外枠を用いない金型の固定方法が記載されており、金型のサイズが変更しても対応しうることが作用として記載されている。このように、金型のサイズが変わっても対応し得るようにすることは本願出願前既に検討されていた課題であり、そのためには外枠を用いない金型の位置決め固定を採用することは当業者であれば容易になし得たことである。

しかしながら、外枠を金型の位置決め固定と切り離して型締力受け部として利用することや、該技術事項と併用して位置決め用の係合突起部を採用すること、それらを成形同時絵付け用金型に適用することは当業者といれども、容易に想到し得たこととはいえない。